

高等学校 令和4年度（1学年用） 教科：地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位
対象学年組：第1学年 1組～7組
使用教科書：歴史総合 近代から現代へ（山川出版社）、新詳歴史総合（浜島書店）
教科：地理歴史 の目標

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、
国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

科目：歴史総合 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、多面的・多角的に考察したり、課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価規準	知	思	態	配当 時数
前期	授業オリエンテーション	・授業の進め方や評価の方法等の指導。 ・中学までの既習内容（都道府県・ヨーロッパ地図）の確認と復習。	③主体的に学習に取り組む態度			○	1
	近代ヨーロッパの成立	・産業革命による工業化で、西ヨーロッパ中心の植民地支配が一層拡大した一方、アメリカ独立戦争・フランス革命が生み出した新たな理念・考え方について追究している。 ・ウィーン体制やビスマルク外交、東方問題がヨーロッパのパワーバランスにどのような影響を与えたのか理解している。 ・明治新政府が諸外国と結んだ外交関係や大日本帝国憲法の成立過程を理解している。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・ワーク提出 ③主体的に学習に取り組む態度 学習の振り返り	○	○	○	10
	帝国主義の展開	・日清戦争において、日本が清・朝鮮に対してどのような過程を経て条約締結にむかったのか表現している。 ・帝国主義のうまれた背景や進展を踏まえた上で、欧米列強がアフリカ大陸を植民地化していく過程を考察している。 ・列強が中国に進出したことに対して、中国の人々はどのように対応した	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・ワーク提出 ③主体的に学習に取り組む態度 学習の振り返り	○	○	○	12
後期	二つの世界大戦	・第一次世界大戦によって成立した総力戦体制と、大戦後のパリ講和会議・ワシントン会議における欧米各国の思惑を理解している。 ・中国や植民地における民族運動が活発化したことによる影響を考察している。 ・世界恐慌とファシズムの台頭は、国際秩序にどのような影響を及ぼしたか、資本主義国と社会主義国の視点から多角的に考察している。 ・第二次世界大戦のおこった背景を理解し、ヨーロッパ諸国がどのような影響を受けたかまとめている。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・ワーク提出 ③主体的に学習に取り組む態度 学習の振り返り	○	○	○	12
	冷戦と世界経済	・二つの世界大戦を経て、国際社会は平和と安定をどのようにして構築しようとしているか考察する。 ・連合国はどのように日本の民主化を進めていったのか理解している。 ・「第三世界」の形成が、国際社会に与えた影響について理解している。 ・日本の高度経済成長のきっかけについて、欧米を上回る経済成長が実現した要因についてまとめている。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・ワーク提出 ③主体的に学習に取り組む態度 学習の振り返り	○	○	○	10
	グローバル化する世界	・ゴルバチョフの新思考外交を契機に、冷戦が終結したことを理解している。 ・東南アジア諸国やインドにおける民主化や経済政策について理解している。 ・経済を軸とした地域統合によって目指した未来像が、今日の世界経済とどのように重なっているのかを見出そうとしている。	①知識・技能 定期考査 ②思考・判断・表現 定期考査・ワーク提出 ③主体的に学習に取り組む態度 学習の振り返り	○	○	○	10